

取扱説明書



スリングシートR 1 TB-1401

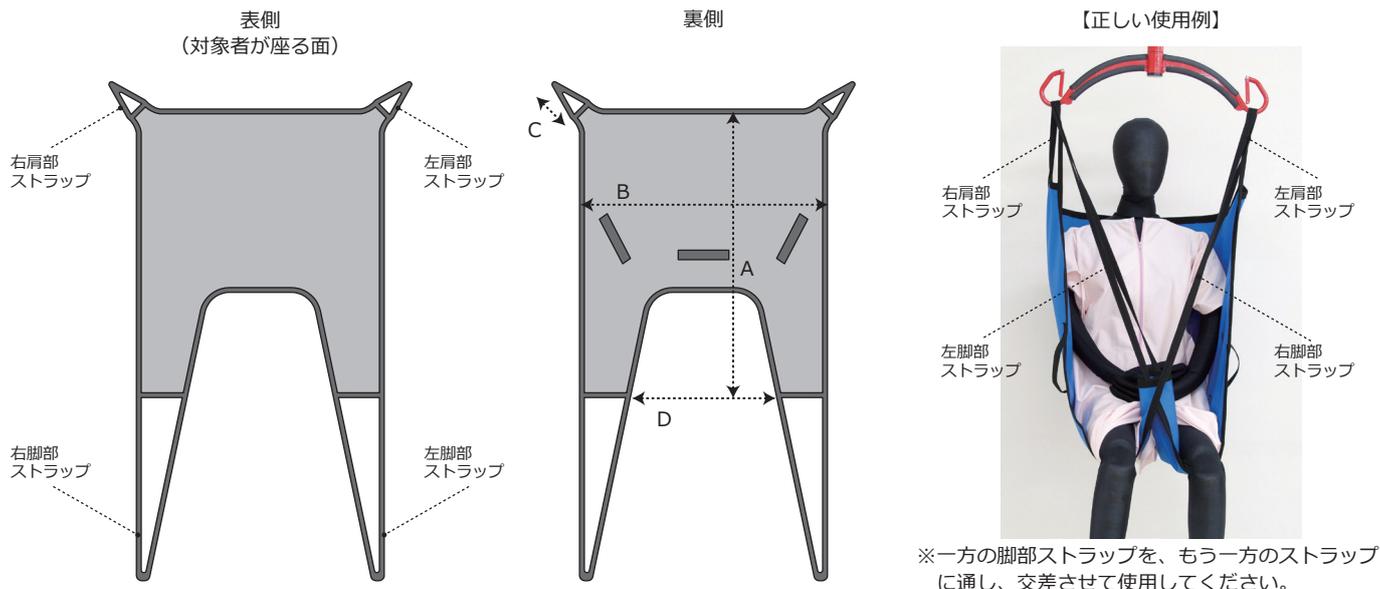
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。ここに示した事項は安全にお使いいただくことにより、事故を未然に防止するためのものです。

区分	危険や損害の大きさと切迫の度合い
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定されます。

警告	本製品を使用する前には必ず取扱説明書をよく読んでください。誤った使い方をすると、重大な事故につながる恐れがあります。
	本製品は対象者の身長に合った物をお使いください。大きすぎると落下の恐れ、小さすぎると過度の圧迫を与える恐れがあります。
	本製品を使用する前には、医師・理学療法士・作業療法士などに必ずご相談ください。対象者の身体状況によっては、症状が悪化する恐れがあります。
	操作は必ず介助者が行ってください。また対象者を吊り上げている間はそばを離れないようにしてください。
	対象者の身体に何か異変があった場合は、直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。
	150kg以上の荷重をかけないでください。事故や破損の原因になります。
	使用前・使用後に必ず点検を行ってください。ストラップや本体の糸がほつれたり、やぶれている場合は直ちに使用を中止してください。
	リフトを操作する前に、ストラップがリフトのハンガーに正しく掛かっている事を確認してください。ストラップが外れ、対象者が転落する恐れがあります。
	リフトの操作前・操作中はまわりの人の身体や手足、障害物が無いか十分注意してください。何かに引っかかった状態で操作すると、けがや破損の恐れがあります。
	対象者を吊り上げた状態で、ストラップの脱着は絶対に行わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。
対象者が車イスの座面やベッド等にしっかりと着地していることを確認してから、ストラップを外してください。重大な事故につながる恐れがあります。	
本製品に酸性やアルカリ性の洗剤、漂白剤をかけたり、火気に近づけないでください。変質・変形・火災などの原因となります。	
改造や修理は絶対にしないでください。事故・けがの原因となります。	
リフトの取り扱いについては、ご使用になるリフトの取扱説明書をよくお読みください。	

注意	介助者はリフトの操作を十分に練習してから、リフトを使用してください。
	本製品の用途以外には使わないでください。事故や破損の原因になります。
	リフト操作中に対象者がずり落ちそうになったり、痛みや不安を訴えたりする時にはリフトの使用を中止してください。
	リフトを移動させる際、対象者の手足がまわりの物にぶつからないよう十分にご注意ください。
対象者を吊り上げた状態で、長時間・長距離の移動には使用しないでください。ベッドから車イスへの移乗等、短時間の移動のみに使用してください。	

各部の名称と仕様



サイズ	耐荷重	対象者の身長	A (cm)	B (cm)	C (cm)	D (cm)	材質
S	150kg	120 ~ 155cm	105	98	25	58	ナイロン 100% 裏：PVC (塩化ビニル) 加工
M		145 ~ 175cm	110	98	20	58	
L		165 ~ 185cm	115	98	15	58	

使用方法

● 対象者がベッドや床に横たわっている場合



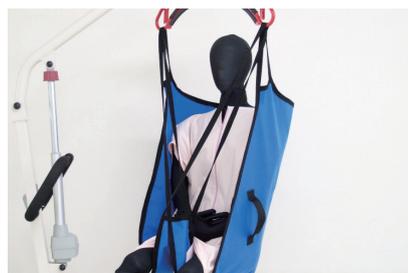
①対象者を側臥位にしてください。スリングシートの向きに注意し、対象者の背中中央にシートの中央を合わせてください。ベッドと身体の間を軽く差し込んでください。



②対象者を反対側の側臥位にし、背中とベッドの間から出ているシートを引き出して広げてください。対象者を仰向けにし、シート中央に対象者の身体が位置するように調整してください。



③左右の脚部ストラップを、大腿部の下側に通し、両足の間から引き出してください。次に、両方の脚部ストラップを持ち上げ、同じくらいの長さになるように調整してください。その後、一方の脚部ストラップを、もう一方のストラップに通し、交差させてください。



④上画像のように全ての肩部ストラップ、脚部ストラップをリフトのハンガーに掛けたことを確認してから、吊り上げを開始してください。

使用方法

● 対象者が車イスやイス、ベッド上に座っている場合



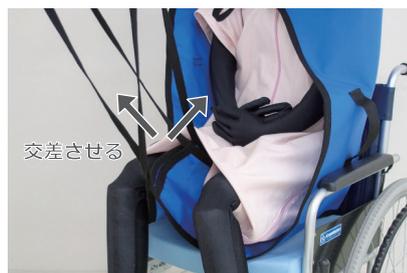
①対象者を前かがみにさせ、スリングシートの向きに注意し、対象者の背中中央に合わせ、おしりの方へと差し込んでください。



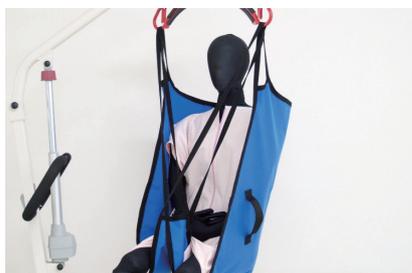
②脚部ストラップを対象者の両足に添って引き出してください。引き出した左右の脚部ストラップの長さが、同じくらいの長さになるように調整してください。



③対象者の足を片側ずつ持ち上げ、大腿部の下側に通し、両足の間から引き出してください。このとき脚部ストラップがねじれないように注意してください。



④両方の脚部ストラップを持ち上げ、同じくらいの長さになるように調整してください。その後、一方の脚部ストラップを、もう一方のストラップに通し、交差させてください。



⑤上画像のように全ての肩部ストラップ、脚部ストラップをリフトのハンガーに掛けたことを確認してから、吊り上げを開始してください。